

議決権行使レポート

証券コード 8848

社名 レオパレス 21

	賛成	反対	棄権
第一号議案 資本準備金の額の減少及びその他剰余金の処分の件	<u>○</u>		
第2号議案 取締役10名選任の件			
宮尾 文也 氏	<u>○</u>		
早島 真由美 氏	<u>○</u>		
持田 直道 氏	<u>○</u>		
竹倉 慎二 氏	<u>○</u>		
山下 明男 氏	<u>○</u>		
劉 韜 氏	<u>○</u>		
渡邊 顯 氏	<u>○</u>		
中村 裕 氏	<u>○</u>		
柴田 拓美 氏	<u>○</u>		
石井 歆 氏	<u>○</u>		
第3号議案 監査役1名選任の件（下吹越一孝氏）	<u>○</u>		

上記の判断をした理由：

●第1号議案：資本準備金の額の減少及びその他剰余金の処分の件

レオパレス 21（以下、レオパレス）の営業利益、当期純利益は前年度と比べ増益となっている。2020年の業績悪化の影響からはかなり回復したと思われる。資本準備金を減少させることで、繰越利益剰余金の欠損を解消できるとともに、今後の柔軟で機動的な資本政策や早期に株主に復配できる体制を確保することができるため、資本金準備金の額の減少に賛成する。さらに中長期の目標として株主還元（復配・自社株買い）を第一優先に考えているため、その他剰余金の処分についても賛成する。

●第2号議案：取締役10名の選任の件

宮尾氏は2019年から代表取締役社長に就任しており、レオパレスの経営トップとしてコ

議決権行使レポート

コロナ禍をくぐり抜けてきた実績もある。したがって同氏の再任に賛成する。

早島氏は10名の中で唯一の女性であり、営業部門や法務コンプライアンス部門を経験しているため豊富な知見と能力を有していると考えられる。よって同氏の再任に賛成する。

持田氏は法人営業で培った豊富な業務経験と財務・ファイナンスに関する高い知識を有している。また、社宅代行業務を行う関連子会社の代表取締役の経験もあり、そこで培った深い見識も生かされると考えられるため、同氏の再任に賛成する。

竹倉氏は1996年にレオパレスに入社して以降、西日本、東日本の営業部長を経験している、レオパレスに関する知見が著しく深いと考えられる。したがって同氏の再任に賛成する。

山下氏は日本政策投資銀行、モルガンスタンレー証券での勤務を経験しており、さらに投資ファンド代表として不動産関連事業等の案件を多く手掛けている。したがって取締役として企業価値の最大化が期待できる人材であると判断できるため、同氏の再任に賛成する。

劉氏はモルガンスタンレー証券での勤務、そしてレオパレスの社外取締役も経験しているため公正な立場から積極的な発言ができる人材であると考えられる。したがって同氏の再任に賛成する。

渡邊氏は数多くの会社の社外監査役や社外取締役を経験しており、さらに弁護士としての専門的な知識を有しているため、同氏の社外取締役の再任に賛成である。

中村氏は住宅業界で培った品質管理や環境管理の分野に関する深い知見を活かすことができると考えられるため、同氏の再任に賛成する。

柴田氏は証券会社や、資産運用会社の要職を歴任した経験を通じて、事業系傾斜として幅広い見識や資産運用、ファイナンスに関する深い知見を有していると考えられる。したがって同氏の再任に賛成である。

石井氏は投資銀行の要職、日本航空の管財人代理を歴任した経験を通じて、企業再生に関する幅広い知見・経験を有していると考えられる。したがって同氏の再任に賛成する。

●第3号議案：監査役1名選任の件

下吹越氏は公認会計士としての俯瞰見識と税理士法人での様々な経験をお持ちである。さらに2016年頃から、レオパレスのオーナー向けに税務相談を行っていた実績もあり、当社のビジネスに精通していると考えられる。さらに同氏とレオパレスには特別な、直接的な利害関係はないと考えられるため、同氏の監査役への新任に賛成する。